

武道ツーリズム事業者に関するアンケート調査 2020

1. 調査目的

日本固有の文化である「武道」を活かしたツーリズム事業の発展のための基礎データの収集

2. 調査主体

調査主体: 一般社団法人日本スポーツツーリズム推進機構(JSTA)/月刊秘伝編集部

調査協力者: 早稲田大学スポーツ科学学術院 教授 原田宗彦

分析・報告書作成者: 早稲田大学スポーツ科学学術院 助教 山下 玲

早稲田大学スポーツ科学研究科博士後期課程 楊 雅琪

3. 調査手法

質問紙とWEB の併用

4. 調査対象

月刊秘伝道場ガイド登録道場

5. 調査期間

郵 送: 2021 年 1 月 22 日～2 月 15 日

ウェブ: 2021 年 1 月 20 日～2 月 15 日

6. 調査票回収数

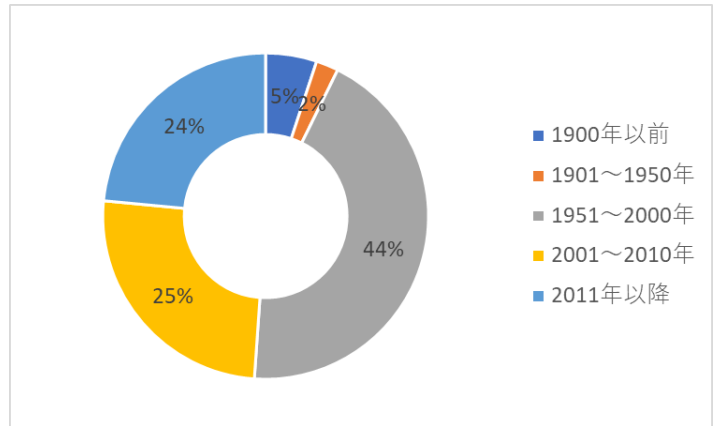
315 部(郵 送: 148 部、ウェブ: 167 部)

問 1. 回答者属性

※組織名、組織所在地などのため省略

問 2. 道場の設立年

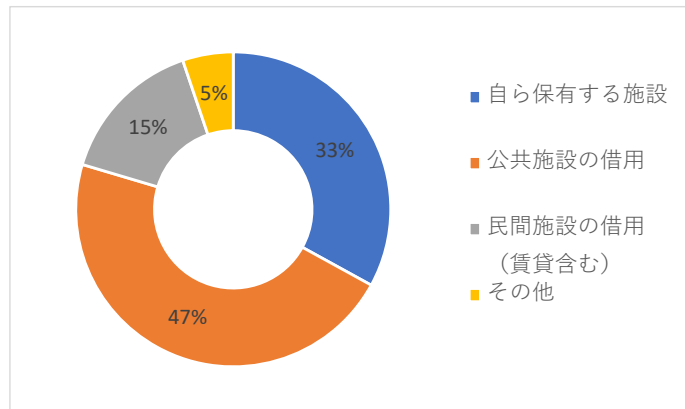
	n	%
1900 年以前	16	5.1
1901～1950 年	7	2.2
1951～2000 年	138	43.8
2001～2010 年	80	25.4
2011 年以降	74	23.5
合計	315	100.0



半数近くの道場が 1951 年～2000 年の間に設立していることが明らかとなった(43.8%)。また、2001 年以降に設立された道場も 48.9%と多く存在することが明らかとなった一方、1900 年以前から存在する道場も 5%あることが示された。

問 3. 道場が使用している施設の種類の種類

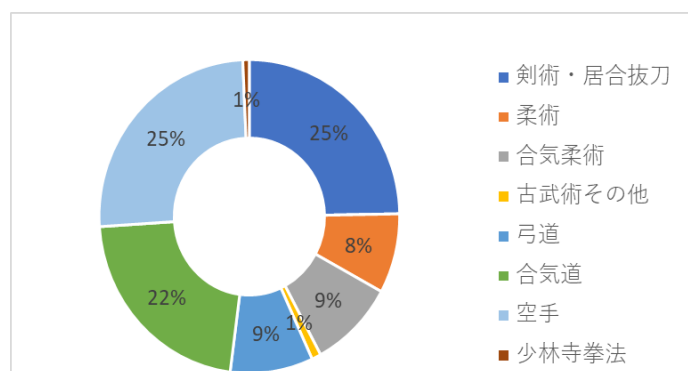
	n	%
公共施設の借用	144	46.6
自ら保有する施設	102	33.0
民間施設の借用(賃貸含む)	47	15.2
その他	16	5.2
合計	309	100.0



半数近くの道場が公共施設を借用していることが明らかとなった。また、自ら施設を保有している道場も一定数存在することが明らかとなった。

問 4. 主に提供している武道

	n	%
空手	74	25.3
剣術・居合抜刀	72	24.7
合気道	64	21.9

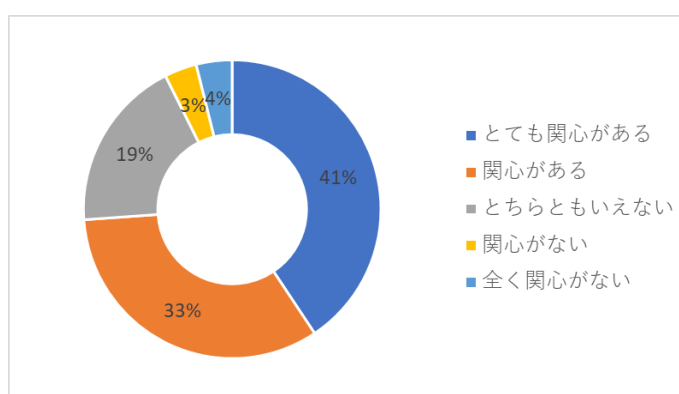


合気柔術	27	9.2
弓道	26	8.9
柔術	24	8.2
古武術その他	3	1
少林寺拳法	2	0.7
合計	292	100.0

主に提供している武道は多岐に渡るが、現代武道に含まれる空手が最も多く、古武術に含まれる剣術・居合抜刀が次いだ一方、少林寺拳法を提供している道場は少ないことが明らかとなった。

問 5. 武道ツーリズムへの関心

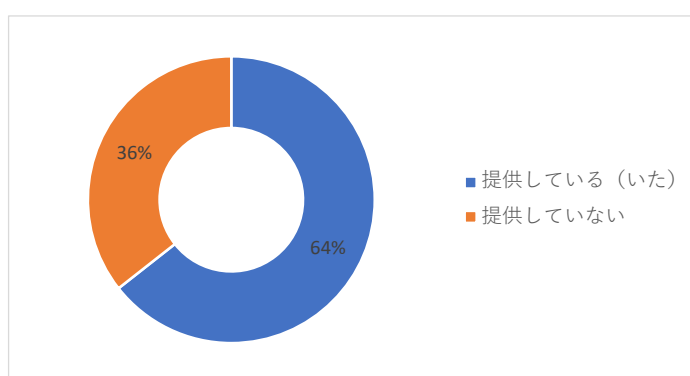
	n	%
とても関心がある	126	40.6
関心がある	103	33.2
どちらともいえない	58	18.7
関心がない	11	3.5
全く関心がない	12	3.9
合計	310	100.0



武道ツーリズムへの関心を尋ねたところ、「とても関心がある」と「関心がある」が7割を超えていることが明らかとなった。

問 6. 一般市民及び海外の方を対象とした武道の体験プログラム提供の有無

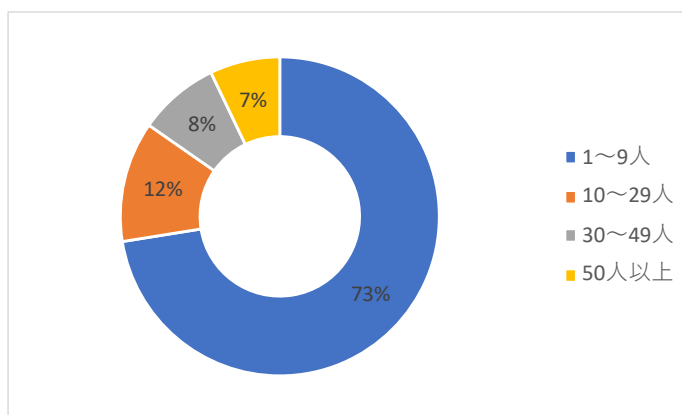
	n	%
提供している (いた)	201	64.4
提供していない	111	35.6
合計	312	100.0



一般市民や海外からの観光客を対象とした体験プログラムを提供しているかを尋ねたところ、提供している、あるいは過去にしていた道場が半数以上を超えていた。

問 7. 提供しているプログラムの 1 ヶ月あたりの参加者（新型コロナウイルスの影響を受ける前）

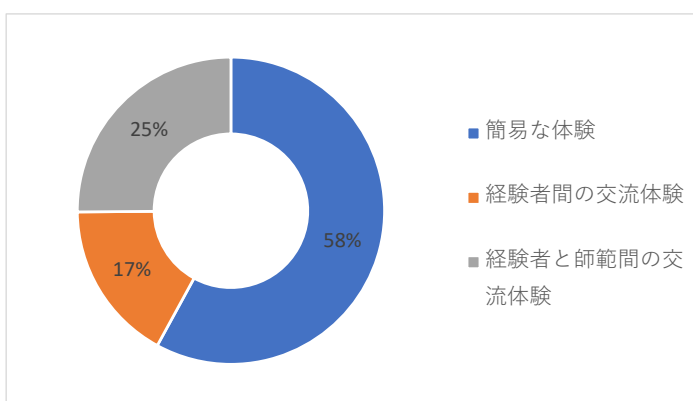
	n	%
1～9 人	142	72.4
10～29 人	24	12.2
30～49 人	16	8.2
50 人以上	14	7.1
合計	196	100.0



問 6 で「提供している(いた)」と回答した道場が提供しているプログラムの 1 ヶ月あたりの参加者は「1～9 人」が最も多く(72.4%)、「50 人以上」と回答した道場も 7.1%存在した。

問 8. 提供しているプログラムの種類

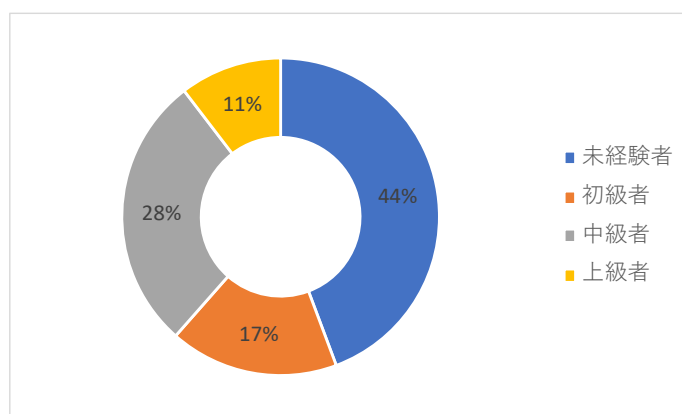
	n	%
簡易な体験	113	57.9
経験者と師範間の交流体験	49	25.1
経験者間の交流体験	33	16.9
合計	195	100.0



問 6 で「提供している(いた)」と回答した道場が提供しているプログラムの種類として最も多かったプログラムは「簡易な体験」であった(57.9%)。

問 9. 提供しているプログラムの参加者の熟練度

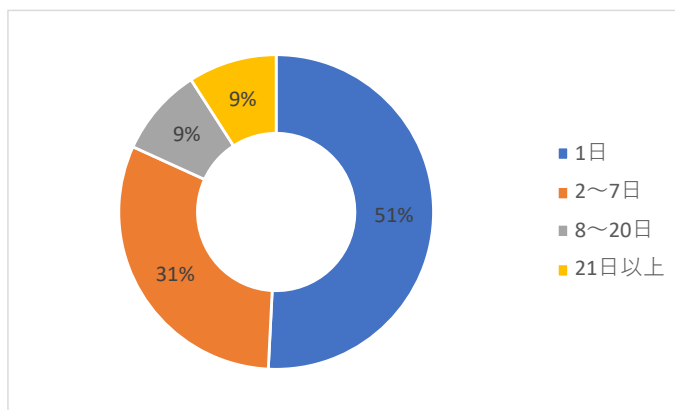
	n	%
未経験者	85	44.3
初級者	33	17.2
中級者	54	28.1
上級者	20	10.4
合計	192	100.0



問6で「提供している(いた)」と回答した道場が提供しているプログラム参加者の熟練度として最も多かったのは「未経験者」(44.3%)であったが、ある程度経験のある「中級者」や「上級者」も多いことが明らかとなった(中級者と上級者合算:38.5%)。

問 10. 提供しているプログラムの期間

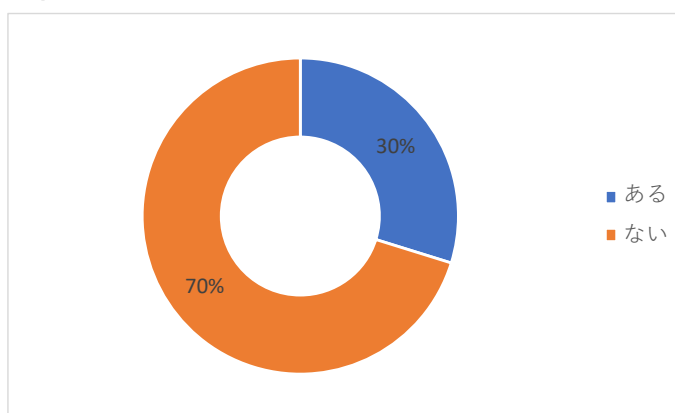
	n	%
1日	100	50.8
2～7日	61	31.0
8～20日	18	9.1
21日以上	18	9.1
合計	197	100.0



問6で「提供している(いた)」と回答した道場が提供しているプログラム期間として最も多かったのは「1日」(50.8%)であった。

問 11. インバウンドに対する専用プログラムの有無

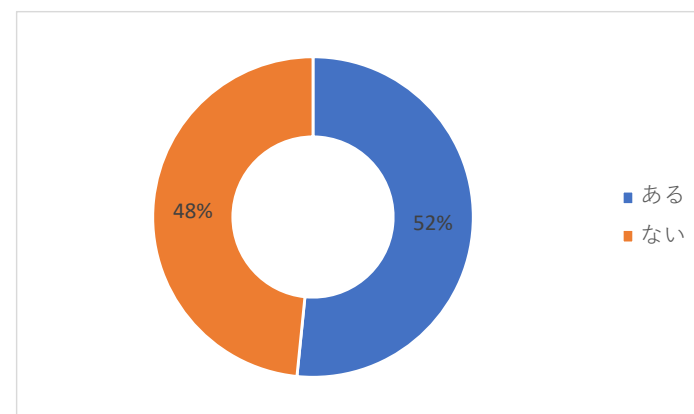
	n	%
ある	59	29.8
ない	139	70.2
合計	198	100.0



問6で「提供している(いた)」と回答した道場がインバウンドを対象とした専用プログラムを実施しているかを尋ねたところ、「ない」と回答した道場が7割を超えた。

問 12. 多言語対応の有無

	n	%
ある	99	51.6
ない	93	48.4
合計	192	100.0



問6で「提供している(いた)」と回答した道場が多言語対応しているかを尋ねたところ、「ある」が51.6%、「ない」と回答した道場が48.4%であった。

問12-1. 対応している言語(複数回答可)

	n
英語	97
中国語	10
韓国語	1
その他	17
	125

問6で「提供している(いた)」と回答した道場で多言語対応している道場のうち、英語で対応している言語が最も多く、その他の記述には、「ドイツ語」や「イタリア語」、「ポルトガル語」、「スペイン語」、「フランス語」などが含まれた。

問13. 提供しているプログラムの予約方法(複数回答可)

	n
メール	130
電話	98
ウェブサイト	75
その他	32
旅行会社	16
	351

問6で「提供している(いた)」と回答した道場の予約方法として「メール」が最も多く「電話」が次いだ。なお、「その他」の回答には、「友人・知人からの口コミ」が含まれた。

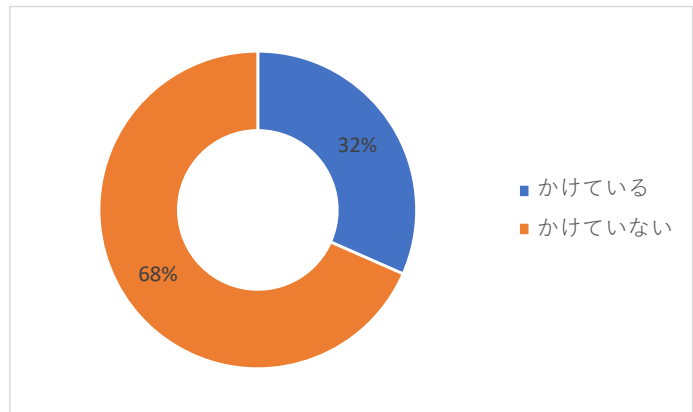
問14. 提供しているプログラムの参加費の決済方法(複数回答可)

	n
現金	129
銀行振込	36
無料	33
クレジット	14
電子マネー	11
	223

問6で「提供している(いた)」と回答した道場の予約方法として「現金」が最も多く「銀行振込」が次いだ。なお、「クレジット」や「電子マネー」といったキャッシュレス対応している道場は依然として少ない傾向にあることが明らかとなった。

問 15. 提供している参加者に対する保険加入の有無

	n	%
かけている	59	31.6
かけていない	128	68.4
合計	187	100.0



問6で「提供している(いた)」と回答した道場で参加者に対して保険加入をしているかを尋ねたところ、「かけていない」が7割近いことが明らかとなった。

問 15-1. 保険をかけていない理由

※自由記述回答のため省略

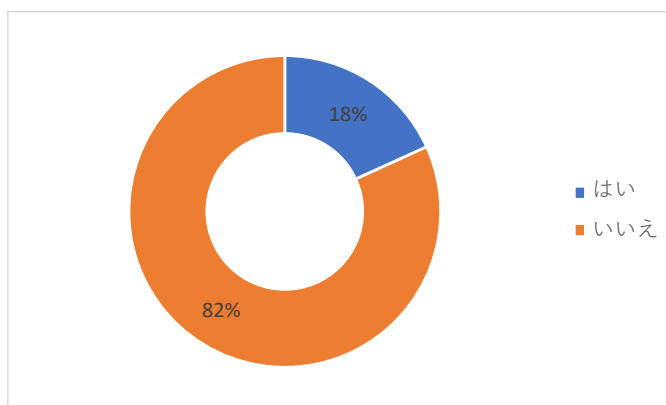
問 16. 提供しているプログラムや道場に関する情報発信方法(複数回答可)

	n
ウェブサイト	131
Facebook	81
その他	53
Youtube	49
Twitter	33
パンフレット	31
雑誌広告	17
旅行会社	9
観光庁	5
	409

問6で「提供している(いた)」と回答した道場で、提供しているプログラムや道場に関する情報発信媒体として「ウェブサイト」が最も多く、「Facebook」が次いだ。また、「その他」の回答には「ロコミ」や「インスタグラム」、「特にしていない」が含まれた。

問 17. 宿泊付きプログラムの提供有無

	n	%
はい	36	18.2
いいえ	162	81.8
合計	198	100.0



問 6 で「提供している(いた)」と回答した道場で宿泊付きプログラムを提供している道場は 18.2%に止まり、多くは提供していないことが明らかとなった。

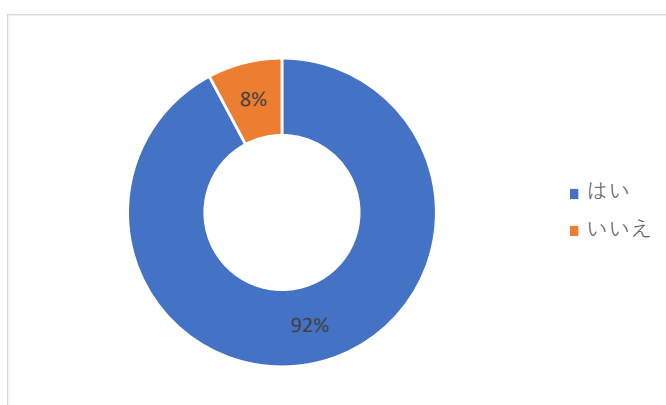
問 17-1. プログラムの宿泊先(複数回答可)

	n
提携のホテル・旅館	18
道場	9
関係者宅	8
その他	5
合計	40

問 6 で「提供している(いた)」と回答した道場で宿泊付きプログラムを提供している道場のうち、宿泊先として「提携のホテル・旅館」が最も多いことが明らかとなった。

問 18. プログラム提供時の新型コロナウイルス対策の実施有無

	n	%
はい	177	92.2
いいえ	15	7.8
合計	192	100.0



問6で「提供している(いた)」と回答した道場で新型コロナウイルス対策を行なっている道場がほとんどであることが明らかとなった。

問 18-1. 実施している新型コロナウイルス対策(複数回答可)

	n
マスク・フェイスシールド	146
アルコール消毒	131
内容変更	101
プログラム中止	44
その他	41
	463

新型コロナウイルス対策として、「マスク・フェイスシールドの着用」や「アルコール消毒」が多数を占め、「内容変更」をしている道場もあることが明らかとなった。

